

岐阜工業高等専門学校		開講年度	令和04年度 (2022年度)		授業科目	英語特講 1	
科目基礎情報							
科目番号	0014		科目区分	一般 / 必修			
授業形態	講義		単位の種別と単位数	学修単位: 2			
開設学科	先端融合開発専攻		対象学年	専1			
開設期	前期		週時間数	2			
教科書/教材	e-learning 教材『TOEIC 学習システム』、『新TOEIC TEST 出る順で学ぶボキャブラリー990』（講談社）、その他担当教員が適宜配布するプリント						
担当教員	野々村 咲子						
到達目標							
①英文法の知識を深める ②語彙を増やす ③リーディング能力を高める ④ライティング能力を高める ⑤リスニング能力を高める 岐阜高専ディプロマポリシー：(C)							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安		
評価項目1	コミュニケーションに必要な英文法の知識を活用することができる。		コミュニケーションに必要な英文法の知識をほぼ活用することができる。		コミュニケーションに必要な英文法の知識を活用することができない。		
評価項目2	コミュニケーションに必要な語彙の知識を活用することができる。		コミュニケーションに必要な語彙の知識をほぼ活用することができる。		コミュニケーションに必要な語彙の知識を活用することができない。		
評価項目3	コミュニケーションに必要なリーディング能力を活用することができる。		コミュニケーションに必要なリーディング能力をほぼ活用することができる。		コミュニケーションに必要なリーディング能力を活用することができない。		
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要	TOEIC425 点、もしくは自身の将来にとって必要なそれ以上の得点獲得を目標に、英文法および語彙の知識を深め、英語コミュニケーション能力を高める。						
授業の進め方・方法	授業はe-learning教材『TOEIC 学習システム』、TOEIC 模擬問題、単語テストで構成されている。また各自適宜予習復習が必要となる。 英語導入計画：Documents （事前準備の学習）本科で使用した英語教科書等を復習しておくこと。						
注意点	授業では辞書、リスニングに必要なイヤフォン、未知の単語熟語などをメモするノート（および筆記用具）を毎回必ず持参すること。持参しない場合は居眠りやよそ事などと同様「履修の資格なし」とみなす。 授業中行ったTOEIC 模擬問題の確認や単語の修得を家庭学習として毎回行い、次の授業に臨むこと。 授業の内容を確実に身につけるため、予習・復習が必須である。						
授業の属性・履修上の区分							
☒ アクティブラーニング		☒ ICT 利用		☒ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業	
授業計画							
		週	授業内容	週ごとの到達目標			
前期	1stQ	1週	ガイダンス、NetAcademy Next Stage 1 and 2実施 1（ALのレベルA）	TOEICの基本的な出題形式、解法を理解する（授業外学習事前）現状の英語力を把握しておく（約1時間） （授業外学習事後）2週のうちにStage 1 and 2が完遂するようE-learning課題を進めておく（約3時間）			
		2週	NetAcademy Next Stage 1 and 2実施 2（ALのレベルA）	TOEICの基本的な出題形式、解法を理解する（授業外学習事前）2週のうちにStage 1 and 2が完遂するようE-learning課題を進めておく（約2時間） （授業外学習事後）2週のうちにStage 1 and 2が完遂するようE-learning課題を進めておく（約2時間）			
		3週	単語テスト（ALのレベルC）	語彙を増やす（授業外学習事前）全体的に単語帳を見直す（約2時間） （授業外学習事後）不正解だった単語を中心に単語帳を見直す（約2時間）			
		4週	単語テスト（ALのレベルC）	語彙を増やす（授業外学習事前）全体的に単語帳を見直す（約2時間） （授業外学習事後）不正解だった単語を中心に単語帳を見直す（約2時間）			
		5週	TOEIC模擬試験 1（1回目）	大まかな自身の現状のTOEICスコアを把握し、問題点を洗い出す（授業外学習事前）NetAcademy Next Stage 1 and 2を見直す（約2時間） （授業外学習事後）NetAcademy Next Stage 1 and 2を見直す（約2時間）			
		6週	TOEIC模擬試験 1（2回目）	大まかな自身の現状のTOEICスコアを把握し、問題点を洗い出す（授業外学習事前）NetAcademy Next Stage 1 and 2を見直す（約2時間） （授業外学習事後）不正解だった箇所を中心に解説を確認する（約2時間）			

		7週	ハーフサイズ模試 1 (ALのレベルA)	大まかな自身の現状のTOEICスコアを把握し、問題点を洗い出す (授業外学習事前) NetAcademy Next Stage 1 and 2をやTOEIC模擬試験 1の内容を見直す (約2時間) (授業外学習事後) 不正解だった箇所を中心に解説を確認する (約2時間)
		8週	単語テスト (ALのレベルC)	語量を増やす (授業外学習事前) 全体的に単語帳を見直す (約2時間) (授業外学習事後) 不正解だった単語を中心に単語帳を見直す (約2時間)
	2ndQ	9週	単語テスト (ALのレベルC)	語量を増やす (授業外学習事前) 全体的に単語帳を見直す (約2時間) (授業外学習事後) 不正解だった単語を中心に単語帳を見直す (約2時間)
		10週	TOEIC模擬試験 2 (1 週目)	大まかな自身の現状のTOEICスコアを把握し、問題点を洗い出す (授業外学習事前) NetAcademy Next Stage 1 and 2をやTOEIC模擬試験 1の内容を見直す (約2時間) (授業外学習事後) NetAcademy Next Stage 1 and 2をやTOEIC模擬試験 1の内容を見直す (約2時間)
		11週	TOEIC模擬試験 2 (2週目)	大まかな自身の現状のTOEICスコアを把握し、問題点を洗い出す (授業外学習事前) NetAcademy Next Stage 1 and 2をやTOEIC模擬試験 1の内容を見直す (約2時間) (授業外学習事後) 不正解だった箇所を中心に解説を確認する (約2時間)
		12週	単語テスト (ALのレベルC)	語量を増やす (授業外学習事前) 全体的に単語帳を見直す (約2時間) (授業外学習事後) 不正解だった単語を中心に単語帳を見直す (約2時間)
		13週	ハーフサイズ模試 2 (ALのレベルA)	大まかな自身の現状のTOEICスコアを把握し、問題点を洗い出す (授業外学習事前) NetAcademy Next Stage 1 and 2をやTOEIC模擬試験 1の内容を見直す (約2時間) (授業外学習事後) 不正解だった箇所を中心に解説を確認する (約2時間)
		14週	ハーフサイズ模試 3 (ALのレベルA)	大まかな自身の現状のTOEICスコアを把握し、問題点を洗い出す (授業外学習事前) NetAcademy Next Stage 1 and 2をやTOEIC模擬試験 1の内容を見直す (約2時間) (授業外学習事後) 不正解だった箇所を中心に解説を確認する (約2時間)
		15週	振り返り (欠課・成績確認)	
		16週		

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
基礎的能力	人文・社会科学	英語	英語運用能力の基礎固め	日常生活や身近な話題に関して、毎分100語程度の速度ではっきりとした発音で話された内容から必要な情報を聞きとることができる。	4	前2,前3,前4,前6,前7,前9,前10,前11,前13,前14
				日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を基本的な表現を用いて英語で話すことができる。	4	
				説明や物語などの文章を毎分100語程度の速度で聞き手に伝わるように音読ができる。	4	
				平易な英語で書かれた文章を読み、その概要を把握し必要な情報を読み取ることができる。	4	前2,前3,前4,前6,前7,前9,前10,前11,前13,前14
				日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を整理し、100語程度のまとまりのある文章を英語で書くことができる。	4	
				母国以外の言語や文化を理解しようとする姿勢をもち、実際の場面で積極的にコミュニケーションを図ることができる。	4	

評価割合

	期末試験	小テスト・課題	合計
総合評価割合	100	100	200
得点	100	100	200